

屋中だより

令和7年7月30日 No.5

千曲市立屋代中学校

学校長 柳澤 正寿

(文責) 本田 耕一

<http://www.chikuma-ngn.ed.jp/~yashirojh/>



ヒマワリ

*「屋中だより」は、屋代中学校ホームページでご覧いただけます。(千曲市教育委員会⇒小中学校⇒屋代中学校)

中体連県大会(結果)

中体連県大会が7月5日(土)から7月20日(日)にかけて開催されました。ハンドボール男子が優勝。ソフトボールチームの信濃ドリームスターが優勝。見事北信越大会へ駒を進めます。

【男子ハンドボール】

準決勝

屋代 ○ 20-11 ● 更埴西

決勝

屋代 ○ 24-17 ● 戸上

※優勝 北信越大会出場

【女子ハンドボール】

準決勝

屋代 ● 18-19 ○ 戸上

【剣道】

〈個人男子〉

白石 1回戦

【柔道】

〈女子個人戦〉

40kg級 岡田 ベスト8

44kg級 亘 2回戦

52kg級 清水 1回戦

【水泳】

男子400mフリーリレー(倉石 1泳)
5分07秒40(13位)

男子平泳ぎ100m 倉石
1分22秒99(20位)

【女子ソフトボール】(信濃ドリームスター)

※優勝 北信越大会出場

吹奏楽コンクール地区大会(結果)

【吹奏楽】

B部門 金賞

県大会出場(8月6日 ホクト文化ホール)

ルワンダ交流(7月3日)



「お礼のこたば」 福祉人権委員会副委員長 3年1組 H・E さん

本日はお忙しい中、私達のために、お話ししていただきありがとうございました。今日の講演では、ルワンダ共和国の自然・文化・生活・歴史について知ることができました。私達の学年は、道德の授業で「希望の義足」という話で事前に学びましたが、改めてルワンダのことについて学ぶことができました。ルワンダ

は、過ごしやすく、魅力的な動物がいて、伝統を大事にすることができる素敵な国だということがわかりました。

大虐殺というつらい出来事を乗り越え、国民も政府も国を復活させようという思いが強かったのは、みんなルワンダが好きだったからだと思いました。また、ないものを自分たちで作ろうと努力している姿は、今の私に足りないことなのでとても心に残りました。みんなで協力して生きている姿や、一生懸命生きている方の姿を見て、今、私達が幸せに生活できていることは普通ではないんだと実感しました。

政府によって思い出のある建物が壊されてしまった中でも、支えてきてくれた方々のために義足づくりを続ける精神力、本当に尊敬しています。

私は、ルワンダに直接行って助けることはできませんが、今、恵まれている環境で過ごせていることに感謝し、今日わかったことをまだこの出来事を知らない人に話したり、募金活動などに積極的に取り組んだりしていきたいと思います。本日は貴重なご講演をいただき、ありがとうございました。

2学期に向けて決意新たに ～1学期終業式～

1学期が終わり、夏休みが始まりましたが、いかがお過ごしですか？1学期は、修学旅行（3年）、職場体験学習（2年）、宿泊体験学習（1年）、学校総合（YCP:Yashiro Challenge Project）、中学校総合体育大会、吹奏楽コンクールなど様々な活動がありました。終業式に、1、2、3年生の代表生徒から、2学期に向けて決意が語られましたので、以下に紹介します。



宿泊体験学習（妙高自然の家）



職場体験



修学旅行

「一学期をふり返って」

1年1組 K・S さん

私が、一学期頑張ったことは部活と勉強です。なぜなら、部活と勉強を両立して頑張れたからです。

一つ目は部活です。部活では自分の目標に向かって本気で頑張れました。そして、楽しみながら部活ができて良かったです。

二つ目は勉強です。勉強では新しい環境になって勉強についていけるか不安だったけれど、しっかり板書を写したり、教科担任の先生の話をよく聞いたり、自分の知識にすることができたので良かったです。

三つ目はその両立です。勉強と部活を両立させるのは、私にできるかなと思いましたが、意識をしてみたら、少しだけ両立できました。でも、よく次の日に勉強をやっていた時があったので、直していきたいと思います。

そして、クラスも徐々に慣れてきました。最初は、新しい人と仲良くなれるかすごく不安だったけれど、自分のクラスだけでなく、他のクラスの知らない子とも少しずつ仲良くなれて良かったです。

たまに、交友関係で悩むこともあったけれど、そういうときこそ、周りの友達をちょっとずつ頼れるようになりました。頼られることも少しだけ増えてきたので、みんなと一緒に頑張っていけたら良いなと思いました。

今までとルールややるべきことが違うこともあり、迷ってしまうこともあったけれど、今まで通りに、そして、環境にあわせて、生活していくことができました。

これから、部活も勉強も、その両立も、環境も交友関係も、全部難しくなっていくことばかりだと思い

ますが、そんなときでも、誰かに頼って、誰かと協力して、今までのように、自分なりにもっと頑張っていければ良いなと思いました。1学期の経験を通して、二学期また成長していきたいと思いました。

「1学期を振り返って」

2年1組 T・Y さん

1学期を振り返って、良かったことも課題に残ったこともありました。

まず良かった部分は、野球です。僕は、昨年の11月から腰のケガをして4ヵ月間野球ができなくなってしまいました。冬の間もずっと暇でした。それで3月にケガが治り、1ヵ月間のリハビリを終えて、レギュラーを取り戻すことができ、チームにも貢献できました。そして来年は、ついに自分たち1期生の代です。今から野球に全集中して、今年の秋の大会と来年の夏の大会で悔いを残さないよう練習し、必ず全国に行きたいです。

1学期は、課題が多く残りました。1つ目の課題は、授業に取り組む態度です。1学期は、授業中に高校野球の試合を見てしまったり、居眠りしてしまったりなどと授業に取り組む態度がとても良くないと自分でも実感しました。なので、2学期は、そこを修正して、授業に集中して取り組みたいです。2つ目は、テストです。昨年の3学期はケガをしていて野球ができなかったため、勉強に集中していましたが、4月からは野球と勉強を両立しなきゃいけなくなりました。得意教科などは、勉強したのでそこそこの点数はとれました。しかし、英語や社会などの苦手教科は、ほぼ勉強しないでテストに臨んでしまったため、絶望的な点数でした。なので、2学期は、野球と勉強を両立できるように頑張りたいです。あと苦手教科なども、夏休み中に仕上げて、テストに挑みたいです。

3つ目は、学校生活での無駄なケガです。僕は、昼休みの時間にハンドボールをしていて、その際に捻挫をしてしまいました。その日、監督に報告したら「野球以外のところでしょもないケガをすんな。」と怒られました。なので、次からは、二度とケガをしないように学校では、落ち着いて生活していきたいです。このように今年の1学期は、課題が多く残った学期でした。2学期は今言った課題を直していきたいです。

「一学期を振り返って」

3年1組 K・Y さん

私が一学期頑張ったことは二つあります。一つ目は修学旅行です。私は班長をやりました。でも私は、班長やリーダーというのをあまり経験したことがなかったので、うまくいかなかったことの方が多かったです。うまくいなくて班長になったことを後悔したこともありました。でも、そんなときは、友達に聞いて教えてもらったり、助けてもらったりしたので、なんとかやることができました。修学旅行の日は、楽しみより不安のほうが大きかったですが、そんなとき、「私はできる」と自分に言い聞かせて過ごしました。そして最終的に三日目は「楽しかった」「いい思い出になった」と思いながら帰ってくることができました。班長になったことで挑戦する力がついたなと思いました。また、班のみんなには感謝したいです。

二つ目は部活です。私は吹奏楽部に所属しています。7月19日土曜日に吹奏楽コンクールがありました。結果は金賞で、県大会に出場することができました。でも、自分の中ではあまり納得した演奏ではありませんでした。自分は他の人に比べて練習量が全然足りないと感じました。県大会までにもっと練習量を増やして気を緩めずに練習していきたいと思います。今年は屋代中として出られる最後の大会なので、目標としている東海大会金賞を目指して頑張りたいです。部活動もあと三ヶ月で引退となります。悔いの残らない演奏をするために、今の自分には何が出来るのか考えてやりたいです。

二学期に向けて、私は総合テストを頑張りたいです。家でワークや新研究はたくさんやりましたが、やった所を覚えるときに気が緩んで、ゲームやYouTubeを見たりしてあまり覚えられてなかったの、メリハリをつけて取り組んでいきたいです。一学期にあまりいい点数を取れなかったの、明日からの夏休みを有効に使い、二学期の総合テストでいい点を取れるようにしたいです。

明日から夏休みです。勉強と部活動の両立をして、隙間時間を見つけて、一つ一つ目標を達成できるよ

うに頑張りたいです。

1 学期終業式（校長先生のお話から）

1 学期終業式で、校長先生は 4 月からの 74 日間を振り返り、生徒たちに夢を叶えるための「3 つの C」（挑戦・継続・成長）を問いかけてました。生徒それぞれの充実した 1 学期を喜びつつ、夏休みへの期待と注意を促しました。

1 年生（学校の宝）は、中学校生活に順応し、友人関係を深めたことが称賛されました。特に妙高宿泊学習は「友情大作戦」のもと、絆を育む貴重な機会となりました。

2 年生（学校の柱）は、新たな仲間と馴染み、「先輩」としての自覚が芽生え始めたことが強調されました。職場体験学習では「働くこと」の意義を学び、2 学期には学校の「大黒柱」としての準備が本格化します。

3 年生（学校の顔）は、部活動や生徒会で学校をリードしました。卒業まで残り 129 日となり、「勝負の夏」を迎えるにあたり、夏休みが進路実現のための最後の大きなチャンスであると激励。夢を叶えるため、「3 つの C」を意識して夏休みにしかできないことに挑戦するよう促しました。

また、今年の夏が第二次世界大戦終結から 80 年目であることを強調しました。沖縄での地上戦や広島・長崎への原爆投下による甚大な犠牲に触れ、戦争体験者が少なくなる今だからこそ、唯一の被爆国として戦争の悲惨さを忘れず、平和に関心を持つことの重要性を強く訴えました。

最後に、長期休みに生徒たちが「お世話になってはいけない 3 人」について改めて注意を促しました。

【お巡りさん】法律やルールを遵守し、特にスマートフォンの使い方に注意すること。

【お医者さん】健康に気をつけ、体調管理を怠らないこと。

【お坊さん】命を大切にし、水難事故や交通事故に十分警戒すること。最近の事故にも触れ、安全確認やヘルメット着用を徹底するよう呼びかけました。

学校長は生徒への感謝を述べ、8 月 21 日に笑顔で再会できることを楽しみにしていると締めくくりました。

それでは、よい夏休みをお過ごしください。

地方創生・SDGs 応援私募債

寄贈していただきました 【マイク型拡声器】

この度、有限会社オーエム長野様が、八十二銀行を引受先として「地方創生・SDGs 応援私募債」を発行されました。この引受手数料の一部で本校に「マイク型拡声器」を寄贈していただきました。

「マイク型拡声器」は、屋外での学習（修学旅行・妙高宿泊学習ほか）や避難訓練等で使わせていただきます。



有限会社オーエム長野様・八十二銀行様と



市長からの感謝状を学校長から小川社長へ